

N U K U M O R I

ぬくもり

No.69
2023.2.28発行



川中不動（豊後高田市）

基本理念

地域医療への貢献
「肌のぬくもりある医療」の実践

基本方針

- 一、救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一、高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一、患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一、職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

肌のぬくもりある医療



私達は笑顔を大切にします

宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307
<http://www.utihp.jp/>



日本医療機能評価機構

CONTENTS

新年のご挨拶	2
ドクターのおはなし	4
ICLSコース	6
停電時の対応訓練	6
宇佐市在宅医療・介護連携多職種研修会	6
院内看護研究発表会	7
新入職員紹介	7
行事のお知らせ	7
外来担当医師一覧表	8

新年のご挨拶



理事長
西村 正幸

新年あけましておめでとうございます。

旧年中はウクライナでの戦禍、世界中に蔓延するコロナ禍をはじめとする暗いニュースが多くありましたが、今年は平和と明るさを取り戻す一年になつてほしいと願うところがあります。

宇佐高田医師会病院は、北部医療圏唯一の第二種感染症指定医療機関ですので、新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、目下、一般診療を縮小して、一般病床36床を新型コロナウイルス専用病床として多くの新型コロナウイルス感染者を受け入れています。それと同時に、本来の当医師会病院の仕事は地域医療支援病院ですの

で、市内の一次医療機関から紹介された患者さんに対してより高度の二次医療を提供すること（現在医師不足のため消化器外科、循環器内科、消化器内科のみの対応）、第二次救急医療指定医療機関として年間を通して昼夜を問わず救急患者を受け入れています。さらに、地震、津波などライフラインの寸断を伴うような広域の災害時には、災害拠点病院として活動するための備えをしています。

ここで北部医療圏における医療体制をみてみますと、中津市には中津市立中津市民病院、国東市には国東市民病院、山香には杵築市立山香病院という公立病院があり、地域医療の要となっていますが、宇佐市と豊後高田市には、そのような公立の医療機関がなく、本来なら公立病院が果たすべき役割を宇佐高田医師会病院が果たしているといっても過言ではありません。これらの公共の利益に資する業務にかかる人件費を含む経費は病院の経営上

大きな負担となっていて、毎年支給されるぎりぎりの補助金でなんとか赤字を免れている状況です。現在、宇佐市医師会では、老朽化した医師会病院と地域成人病検診センターの移転・建て替え計画を進めています。巨額の投資を伴う一大プロジェクトで、行政の支援なくして、この移転計画の完遂は困難とされます。この地域の医療に不可欠な存在である宇佐高田医師会病院と地域成人病検診センターの存続のために、皆様には市民の声として、医師会病院と成人病検診センターへの支援を市及び市議会に働きかけていただければたいへんありがたいと存じます。

地域の皆様の健康管理、疾病の早期発見と満足度の高い治療と療養環境をご提供できるように、今年も宇佐高田医師会病院並びに地域成人病検診センターの職員一同、力を合わせてがんばりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年のご挨拶



院長 柏木 孝仁

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、北京冬季オリンピックに始まり、ロシアによるウクライナ侵攻、安倍元首相の暗殺、参議院選与党大勝、サッカーワールドカップの日本の活躍と、通常であればその年のトップニュースになる事件が目白押しでした。

それにも増して新型コロナウイルスの猛威は3年経った現在も落ち着く気配をみせず、当院でも新型コロナウイルス感染者の延べ入院患者数は1000名を優に超えました。現在ではほとんどの新型コロナウイルス感染者は自宅療養に切り替えて

いますが、超高齢者で基礎疾患のある患者、肺炎を併発している患者は入院対象となります。多くのコロナ患者を受け入れるため、入院ベッドの半分をコロナ病棟に変更しています。そのため通常診療が一部制限されており、当院をご利用して頂いている皆様には多大なご負担をおかけしていることを深く陳謝いたします。

宇佐高田医師会病院は第二種感染症指定病院であります。加えて災害拠点病院でもあります。数年以内にならず起こると言われている南海トラフ大震災に向けて早急に準備が必要ですが、40年を経過して老朽化した当院では災害に対する十分な対応が出来ない事が危惧されます。現在、建て替えに向けて自治体と交渉し、3年以内の開業を目指しています。そして建て替えは宇佐高田地域の方々

の健康や安全のために必ずお役に立てると確信しています。よく人口減少社会になるのに無駄だと言う方がいますが、高齢社会はこれからが本番です。今後20年は医療を必要とする高齢者が増え続けます。ぜひ建て替えにご理解を頂き、ご支援して頂ければ幸いです。



萎縮性胃炎



内科医師
荒田 昌和

皆様、上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）はしたことがありませんか？健康診断などで受けている方も多くいらっしゃるかもしれませんが。その中で、「萎縮性胃炎」と書かれていた方、今日はそんな方々に向けて「萎縮」のお話を少しだけさせていただきます。

・萎縮とは

まず、萎縮とは何なのでしょう。萎縮とは、胃粘膜の固有胃腺が減少していることを意味します。萎縮の原因は主に、ピロリ菌感染に起因する炎症による上皮細胞の脱落の亢進とされています。では、胃の粘膜に萎縮が認められると何が困るのでしょうか。それは、胃の萎縮粘膜というのは、正常粘膜に比べて胃癌ハイリスクであるということです。日本で検討されたある研究では、萎縮性胃炎の胃癌リスクは5・13倍、また萎縮が



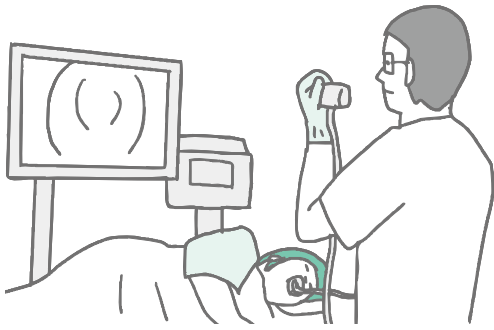
高度であれば24・71倍にまで跳ね上がると示されたほどです。

幽門部からの萎縮の拡がり・面積で、内視鏡的に萎縮性胃炎の拡がりを分類する木村・竹本



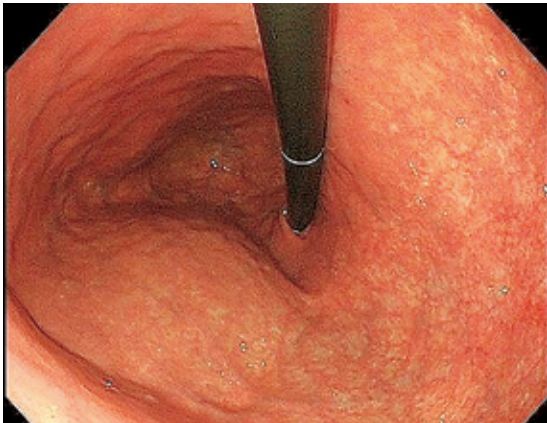
分類と呼ばれる胃炎分類があります。この分類は現在もお、胃癌のリスク、胃酸分泌の状態を評価する上で、重要な胃炎分類とされています。「C」はclose、「O」はopenを意味し、幽門から噴門まで萎縮が広がっているかで、分類されます。人間ドックの内視鏡検査

による胃癌スクリーニング検査と、その後11年間の発見胃癌の頻度の関係を検討した報告では、C-0, C-1は0%, C-2, C-3は2・2%, O-1, O-2で4・4%, O-3で10・3%と、内視鏡的な萎縮範囲が進展するほど胃癌頻度が高くなっていることが示されています。



・治療

ピロリ菌現感染症例について、ピロリ菌を除菌すれば、組織学的には萎縮は有意に改善します。しかし、内視鏡的には改善しない(血管透見像が変わらない)症例も多く見られることが知られています。そのため、内視鏡的に萎縮が認められた場合は、ピロリ菌感染の有無を、現感染であれば除菌治療を、そして萎縮性胃炎の範囲に応じて



定期的な内視鏡スクリーニング検査を受けることが重要と考えます。

・最後に

現在は医療機器の精度も上がり、通常より細いスコープでも詳細な観察が出来る様になってきました。細径スコープであれば、検査における患者様の負担も軽減されるため、人によってはそこまで苦も無く検査を受け



ていただけます。進展範囲に関わらず、萎縮があれば定期的な観察をすることが最も重要と考ええます。早期病変であれば、胃切除をせずに内視鏡的治療で根治できる時代です。自分の身体のことだからこそ、検査所見の意味を知って、検査を受けることの意義を、患者様ご自身にも考えていただけると幸いです。

ICLSコース

10月8日（土）、当院にてICLSコースが行われました。

ICLSとは、Immediate Cardiac Life Supportの頭文字を取った略語で、急に病状が変わるなどして心臓が止まった方に対し病院で行う蘇生法のことです。

ICLSコースは、医療従事者のための蘇生トレーニングコースで、当院では平成27年度より定期的を開催しています。実技・実習を中心とし、実際に即したシミュレーションを繰り返し、蘇生のために必要な技術やチーム医療を約1日かけて身につけます。コースの一般目標は、突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生を習得することです。



停電時の対応訓練



11月19日（土）13時より、電気保安点検による全館停電に伴い、停電時の対応訓練を行いました。

災害対策本部の運営、ライフライン・非常用電源の確認、災害状況の報告・対策、紙カルテの運用確認などを行いました。

今後も災害拠点病院として、定期的な訓練を行い、有事の際に適切かつ迅速な対応ができるよう取り組んで参ります。



令和4年度 宇佐市在宅医療・介護連携多職種研修会 （第2回心不全連携研修会）～心不全ネットワーク構築のために～

1月18日（水）19時より、オンラインにて行われ、当院の管理栄養士と看護師が講演しました。

「心不全重症化予防のための栄養 ～上手に食べて元気で長生きフレイル予防～」

栄養課課長 管理栄養士 佐藤 昌代

「当院での心不全ポイント導入事例紹介 ～心不全ポイントを実際につけてみよう～」

病棟看護主任 小田原 宣恵、リハビリテーション課看護師 平川 祐子

院内看護研究発表会

11月14日（月）17時30分より、大研修室にて、
令和4年度院内看護研究発表会を行いました。



①「手術室におけるガーゼ誤混入の再発防止に向けた取り組み」

手術室 金田 佳純

②「手術後看護の業務改善への取り組み

～手術後観察チェックシートを作成して～」

3階病棟 林 麗奈

③「心不全患者のセルフマネジメント能力向上にむけて

～習慣化できるための関わり方を考える～」

4階病棟 三丸 恵



NEW FACE

新入職員紹介 よろしくお願いたします。

①入職日 ②所属 ③モットー（一言） ④趣味・特技



あ そう ひろ すけ
麻生 裕亮

- ① R4.10.1
- ② 消化器内科医師
- ③ 半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを
- ④ ドライブ

着任のご挨拶

9月までは大分大学医学部附属病院に勤務して
いました。当院は県北の医療を支える役割のあ
る重要な病院であると存じます。地域医療に貢
献できるよう、微力ではありますが精一杯頑張
ります。どうぞ宜しくお願いいたします。

● INFORMATION ●

行事のお知らせ

第19回大分県緩和ケア研究会県北支部会

日時 5月27日（土）14:00～17:00 **場所** ウサノピア小ホール

今回は当院が当番世話人をさせていただきます。
特別講演及び一般演題発表を予定しております。詳しくは改めてご案内致します。
一般の方もお気軽にご参加ください。宜しくお願い申し上げます。



外来担当医師一覧表

時間帯	科 別	月	火	水	木	金	土
午 前	循 環 器	三 好 陣 林	篠 原	三 好 陣林(バースメーカー)	矢 野	陣 林	—
	外 科	村 上	柏 木	蔵 田	江 上	柏 木	—
	消 化 器	麻 生	岡 嶋	岡 嶋	岡 嶋	麻 生	—
	呼 吸 器	担当医	—	渡邊(第2・第4)	—	緒 方	—
午 後	循 環 器	—	—	—	近 藤 (心力テ検査)	—	—
	外 科	—	—	—	(乳腺検査)	—	—
	腎 臓 内 科	宗像(第2・第4)	—	—	—	有馬(第1・第3)	—
	血 液 内 科	—	—	—	幸野(第3)	中山(第2・第4)	—

氏 名	専 門 領 域
陣林 伯男	循環器 内科一般
矢野 雄大	循環器 内科一般
近藤 克洋(非常勤)	循環器科一般
篠原 徹二(非常勤)	循環器 内科一般
三好 美帆(非常勤)	循環器 内科一般
岡嶋 智也	消化器科一般
麻生 裕亮	消化器科一般
内 科 蓑田 昌和	内科一般

氏 名	専 門 領 域
柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
村上 光彦	消化器外科 外科一般
江上 拓哉	消化器外科 外科一般
蔵田 伸明	消化器外科 外科一般
渡邊絵里奈(非常勤)	呼吸器内科
緒方 敦子(非常勤)	呼吸器内科
中山 俊之(非常勤)	血液内科 内科一般
幸野 和洋(非常勤)	血液内科 内科一般
有馬 誠(非常勤)	腎臓内科一般
宗像さやか(非常勤)	腎臓内科一般



●外来受付時間

午前8:30～11:00 (午後の特殊外来は、午後3:00まで受付)
予約の患者様が優先になります。ただし、急患はこの限りではありません。
※当病院は、原則として紹介状が必要です。

●診療時間

午前9:00～12:00 / 午後1:00～4:00

●休診日

土曜日午後、日曜日、祝日、年末年始(12/30～1/3)

●予約受付時間

平日 午後2:00～5:00

編集後記

明けましておめでとうございます。
表紙は豊後高田市の川中不動です。
川中不動は天念寺の前を流れる長岩屋川の中にある大岩に彫られた摩崖仏です。中央に高さ約3.7mの不動明王、両脇に2体の童子(コンガラ童子とセイタカ童子)が彫られています。室町時代に、大雨の度に氾濫を繰り返していた長岩屋川の水害除けとして刻まれたものと伝えられています。
今年も皆様へより良い情報を発信して参りたいと思います。
宜しくお願い致します。

ぬくもり No.69 2023年2月28日発行

宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL 0978-37-2300(代) FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>

これまでの広報誌「ぬくもり」もホームページで閲覧できます。



- 地域医療支援病院
- (財)日本医療機能評価機構認定
(機能種別版評価項目3rdG:Ver.2.0)
- 第2次救急指定医療機関・災害拠点病院(大分DMAT指定病院)
- 僻地医療拠点病院・大分県HIV診療協力病院
- 第2種感染症指定医療機関(SARS初療機関)
- 大分県重症難病患者医療ネットワーク基幹協力病院
- 協力型臨床研修病院・循環器専門医研修関連施設
- NST稼働施設認定病院
- 日本消化管学会胃腸科指導施設
- 肝疾患診療協力医療機関